

平成 26 年 6 月 9 日

一般社団法人日本エンパワーメントコンソーシアム

山下太郎

「プロジェクト実施（案）についてのご提案」

おしゃべりにっぽん（仮）プロジェクト

～おしゃべりコミュニケーションの力で見守り・見守られる安心・安全な暮らしを～

3つ～5つのアクションテーマ内容（委員の皆様と作成すべき内容）

*一般の消費者も取組みやすい内容にする事が大事と思われま

- ①私もあなたも被害者予備軍！
- ②地域学生よ大使を抱け！！（街を守ろう！！）
- ③いいね！で守ろう消費社会
- ④地域消費者被害ゼロおしゃべり大作戦
- ⑤学んで体験！防衛術！！

プロジェクトのコンセプトに賛同した、企業・行政・民間団体が各自の日々の活動の中で、また各自が連携をして、自発的運動を始めるキッカケをつくる
また、既に活動している地域団体との連携を図りやすくする。（提案型プロジェクト）

【プロジェクト名（仮）】

より多くの無関心層を巻き込む為にも、常日頃からみんなが行っているコミュニケーション手段で一番暖かく親しみやすく参加しやすい言葉を選定。

また、おしゃべりという誰もが見守りの担い手になれる手段を取り上げる事で無関心層への啓発を図り消費者教育に繋げる。

【広い目的（仮）】

全ての国民が見守り・見守られる安心・安全な暮らし創りのきっかけ提供

【落としこんだ目的（仮）】＊基本的やり方の共有やきっかけを提案する事が大事

- ・ 地域との連携（地域がその地域にあった対策で実施する）＊押し付けない。
- ・ 既に取り組んでいる団体との連携
- ・ 無関心層への啓発
- ・

【既におしゃべり会を行っている団体等】

- ・ 企業：地域コープおしゃべり会
- ・ 行政：おしゃべり会
- ・ 団体：保育園でのおしゃべり会

【活動シーン（仮）】

- ・ 地域の学生と地域町会との連携で高齢者宅への訪問（取組み名が大事）
- ・ だましのプロからの防御術を学ぶ（体験型消費者教育）
- ・ 寸劇、落語、漫談等の後のおしゃべり
- ・ 高齢者同士の体験談のおしゃべり
- ・ 親族から高齢者へのおしゃべり
- ・ 地域の地銀等と見守りスタンド等の取組み

【プロジェクト賛同者】

- ・ 企業（地銀・銀行・保険会社・飲食店舗・郵便局・宅配水・宅配業者・新聞社等）
- ・ 行政
- ・ 民間団体

【プロジェクト参加メリット】

- ・ 企業（PRや集客《おしゃべり日本加盟店》に繋がる、行政と活動を連携できる）
- ・ 行政（企業や民間団体との連携がとりやすくなる）
- ・ 民間団体（活動を取り上げてくれる・連携先の提供）

【活動方法（仮）】

- ・ 大きなテーマを掲げてモデル地域としっかりと連携する
- ・ プロジェクトホームページを作成して、コンテンツ（DVDや資料）を提供
- ・ ホームページでは、様々な企業・行政・民間団体の取組みを紹介
- ・ Facebook 等のSNSを活用した無関心層への啓発
- ・ 取組んで頂いた企業・行政・民間団体を表彰するアワードの実施

【運営方法】

- ・ 基本的には運営に国費は頂かない。（継続と連携の為）
 - * 企業からの賛同会費やイベント費等で運営。
 - * コストは国が作成する啓発資料やホームページコンテンツ、地域との連携に。
- ・ 企業と上手く連携する事で運営費を頂きより広い啓発と継続につなげる。
- ・ 実行委員会形式で委員の皆様や消費者庁・金融庁にも参加頂く。
- ・ 実行委員会が意思決定機関になります。
- ・ その他省庁とも連携する